

学習院 未来計画

2021

1st year

伝統をつなぐ。未来を育む。



勢いのある学習院が 飛躍を遂げるとき。

私が学習院長に就任して以来、ずっと言い続けている「勢いのある学習院創り」。三段跳びに例えれば、まだジャンプする手前の助走の段階ではありますが、徐々に浸透していると実感しています。本学は52年ぶりに国際社会科学部を新設したわけですが、グローバル人材の育成に取り組む大学が増える中、2016（平成28）年度の学習院大学の志願状況は対前年度比52%増加。これは私立大学の中でもっともよい状況でした。志を持った優秀な学生たちが学習院の学びを通して気力、迫力、意思の強さを備え、卒業したあかつきには企業や教育機関等で幅広く評価を得てくれることでしょう。そして、卒業生が評価されれば学習院のために寄付をしようと考えていただける方々が増えるのです。未来のない、勢いが感じられないものに誰が投資をしようと思いますか？ 国際ビジネス社会で活躍できる人材を育てるのが学習院の役割です。その役割を全うするために、ぜひ皆さまのお力をお借りしたいのです。

私の目標は、間近に迫っている学習院創立150周年の節目に「東京の御三家は慶應・早稲田・学習院」と世に認知されていることです。それには、学習院の勢いとブランド力を従来以上にアピールし、社会評価を高めることが大切です。どうか、節目の年には三段跳びの助走で得たスピードを活かして大きな跳躍ができるよう、関係者の皆さまの絶大なご支援をよろしくお願い申し上げます。

学校法人学習院 院長・理事長
内藤 政武

1960（昭和35）年、学習院大学政経学部経済学科卒業。
2014（平成26）年10月に学習院長に就任。

学習院 未来計画

2021

1st year

「学習院未来計画2021」の実施期間は、2017（平成29）～2021（平成33）年の5年間。学習院が今後も変わらず、個の自由の尊重や多様な価値観の共存、教養と品性の涵養を一貫して育む学校であり続け、勢いのある学習院として発展するために策定されています。

「学習院未来計画2021」は3つのキーワードを柱にしています。

教育改革

学習院は1847（弘化4）年に京都御所日ノ御門前に開講して以来、何度となく変遷を乗り越えてきました。長きにわたる歴史に培われた規律と教育精神のつとめ、ますます高まる社会の期待と要請に応えるため本院ならではの教育改革を実行していきます。



連携強化

学習院は幼稚園から大学まで一貫教育を本旨とし、特色もそれぞれです。各学校との連携を強めることで質の高い教育活動をおこない、学習院の総合力も向上。併せて大学・女子大学を中心に地域や企業との連携を充実させ、社会貢献に取り組んでいきます。



環境整備

上記の「教育改革」「連携強化」を実現させるための整備を重視しています。さらに2027（平成39）年に迎える創立150周年（京都の学習院から180周年）という長期的な節目も視野に入れ、質の高い教育を維持し続けるための土台作りを実施していきます。



「学習院未来計画 2021」の目標・取り

学習院大学

学生の個性を尊重した 学習支援の充実

学習院大学は少人数教育を大切にし、長い歴史と伝統のもと文理両分野の多様な専門教育をおこなっています。「学習院未来計画 2021」では、重要性が増している国際化教育の強化や、開設2年目を迎えるラーニング・サポートセンターにおいてサービス内容を多様化した教育支援の充実、さらに研究機関との連携を拡充した研究活動の支援などを強化。学生の個性を尊重した学習支援で、自ら課題解決に必要な提案と遂行力を身につけた人材を育成します。



学生のニーズを取り込んだ教育支援の充実

学生による授業評価アンケートや教員同士による授業参観などを実施しながらファカルティ・ディベロップメントのプログラムを構築。さらにラーニング・サポートセンターでは学生向けセミナーやグループ学習の実施など学習支援体制を強化します。

国際化の一層の推進

学生からの要望に応えるべく、より効果的な施策として国際研究教育機構と国際交流センターを統合。国際交流に関する研究活動の充実と学生へのサービスの向上を図ります。

- ・語学教育を含む教養教育の見直し、再編
- ・入試改革
- ・学生生活支援の充実
- ・教学マネジメントの強化
- ・研究活動の活性化
- ・地域連携の拡充
- ・産学官連携の拡充
- ・高大接続改革の推進 他

学習院女子大学

グローバル社会で活躍できる 人材育成の強化

学習院女子大学は「日本を学び、世界を知り、英語で伝える」をモットーに、グローバル社会で活躍できる人材育成に力を入れています。充実した教育の実践で、すでに就職力の高い大学として認知されていますが、学生にとって、そして受験生にとってもより魅力的なキャンパス構築に努めます。日本の歴史と文化、国際社会の構造と変容、世界の多様な文化について今後も深く研究し、地に足のついたグローバル人材教育をおこないます。



国際化の一層の推進

レスブリッジ大学とのダブルディグリー制度を開始するなど国際化への取り組みは実践していますが、並行して学生の全体的な語学力の向上を実現するため、いっそうレベルの高い大学への交換留学の促進や語学研修プログラムを充実させます。

研究・教育環境の向上

教員にとっては安全で充実した研究活動ができるよう、学生にとっては学びを深めるために必要な環境を整えるべく、4号館の改修計画など学内環境をより快適なものにします。

- ・カリキュラム編成の見直しと教育力の強化
- ・高大接続改革に伴う入試改革
- ・企画、調査部門の充実とスタッフ・ディベロップメント(SD)の推進
- ・外部に開かれた文化活動の充実

組み

各学校ごとに定めた課題と目標、それを達成するための取り組みを実践することで、より高く評価される学園になることが期待されています。

高等科、中等科

学校生活全般にわたる教育の充実

高等科、中等科は、生徒がそれぞれ個性の芽を育て、開花させていくための準備時期です。その後押しとして、授業内容だけでなく、学校行事やクラブ活動・委員会活動

など学校生活全般を通して、社会の中で独自の貢献を果たせる人材を育てていきます。



学習指導要領改訂と高大接続改革に合わせたカリキュラム改訂

学習指導要領の改訂と高大接続改革を契機に、多様な個性と主体性を備えた有為な人材の育成を目指したカリキュラム改革を実施します。

- ・教員の授業コマ数と教職員配置の適正化に向けた検討
- ・院内各学校との連携強化
- ・国際化の一層の推進

女子中・高等科

個々の能力を発展させる環境構築

女子中・高等科は「その時代に生きる女性にふさわしい品性と知性を身につけること」を教育目標として掲げています。確かな知識の定着を図り、自分で考え、良き友と互いに切

磋琢磨して学習することを指針として、全人的な陶冶を目指します。



院内各校との連携強化

学習院の一貫教育の強みを最大限活用できるよう、両大学教員の女子高等科への出張講義・授業聴講・科目等履修生に加え、内部進学者に対する導入教育についても検討します。

- ・学習指導要領改訂と高大接続改革に合わせたカリキュラム改訂
- ・教員の授業コマ数と教職員配置の適正化に向けた検討
- ・父母保証人のライフサイクルの変化への対応

初等科

基礎・基本を大切にした人間教育

創立以来長い歴史の中で培われた「質実剛健」「自重互敬」の精神を教育の基礎とした人間教育をおこなっています。基礎・基本を大切にしたい教育をおこなうとともに、日本語を大切に

た授業、日本の伝統・文化や日本の歴史を学び、世界への視野を広げるための国際化への取り組みもおこなっています。



授業への ICT 機器導入の検討

2015 (平成 27) 年に電子黒板を導入。「学習院未来計画 2021」では、初等科の教育内容に即した ICT 機器導入の効果を検証し、多角的な方向性を探ります。

- ・学習指導要領改訂に合わせたカリキュラム改訂
- ・国際化の一層の推進
- ・クラス主管に加えての学年主管の設置
- ・創立 140 周年の取り組み

幼稚園

より健やかな心の教育

学習院の一貫教育の出発点として、また人間形成の出発点として、正しく明るくすこやかに幼児を育てることを目標としています。保育内容や自然環境を充実させ、自由

でのびのびとした中でも、正しい価値観と物事を成し遂げる自信を身につけられる教育を目指します。



園内の自然環境の充実や教員の資質向上を図る

樹木、畑、土等の整備をおこない、子どもたちが遊びの生活の中で十分に身体を動かし、四季の移ろいを感じることができる教育環境を整えます。

- ・教育要領改訂を見据えた保育内容の充実
- ・研究保育や園内外研修の取り組み
- ・院内各学校との連携強化

「学校の事業を支えるのは寄付」 この認識が広がってほしい。

国際化した社会で働く学生の未来のために

トマ・ピケティが書いた「21世紀の資本」という本には、資本の収益率が経済成長率を上回ると資産は蓄積されると記されています。蓄積された資産はどこに行くかという例としてあがっているのが、実は大学の基金なんですね。そのトップにあるのがハーバード大学で約300億ドル（約3兆5000億円）。日本の大学ですと100億円くらいですから、日本では寄付文化が根付いていないと言えるでしょう。

本学にとって52年ぶりに新設された国際社会科学部は、語学力にとどまらず様々な問題を分析する力を養い、国際ビジネス社会で活躍できる人材を輩出することが最大の目標です。そのため、学生全員が海外に留学しなければならないのですが、年間約90万円の授業料の他にアメリカ留学ですと短期でも約100万円かかると言われています。大学として留学を勧める

からにはそれなりの支援をしてあげたいのですが、他大学と比較しても奨学金が少ないというのが現状です。授業料と留学費用を合算すると相当な金額になり、父母保証人の負担は非常に大きい。

学生の皆さんがこれから海外で活躍する、あるいは国際化が進む日本国内の企業で活躍することは必須です。その時に備え、自分が持っている可能性を最大限に活かす上で、国際社会科学部は絶好の学びの場になると確信しています。学習院の国際化事業に対して多くの方にご支援を賜りたく、よろしくお願いたします。



末廣 昭

学習院大学国際社会科学部教授
国際社会科学部長

教育改革推進資金の事業計画

総合的な視点から策定したキャンパスプランに基づき、ソフト・ハードの両面から質の高い教育環境を整えます。一層高度な専門教育をおこなうための教育・研究の充実、カリキュラム改革。そして、それらをハード面から支えるための学習院ならではの教育活動実行化に必要な教育環境を目指しています。

寄付者の声

学習院幼稚園にご縁をいただき、大変ありがたく存じております。微力ではございますが貴院の教育改革推進に少しでもお役に立てれば光栄です。

幼稚園

入学式の院長先生のお話に変な感動いたしました。4年間、存分に学習してほしいと思います。よろしくお願いたします。

大学

学習院を心から愛する息子のために、何かのお役に立てればと思います。親子共に、心から素晴らしい学校とっております。

中等科



「学習院未来計画 2021」で計画されている資金の主な活用用途の一例

大学

- ◇ファカルティ・ディベロップメント（大学教員の授業内容・方法を向上させる組織的な取り組み）やスタッフ・ディベロップメント（大学職員の職能開発の組織的な取り組み）の推進
- ◇ラーニング・サポートセンター（学生のための学習支援組織）のサービス拡大とスタッフの増強

女子大学

- ◇教職課程開設のための準備
- ◇入試への英語外部試験利用の導入検討

高等科
中等科

- ◇学習指導要領改訂と高大接続改革に対応したカリキュラム改訂
- ◇webミュージアムによる中高標本室の公開

女子中・
高等科

- ◇アクティブ・ラーニング（課題研究やディスカッション、プレゼンテーションなど生徒の能動的な学習を取り込んだ授業）の充実
- ◇ICT教育の推進

初等科

- ◇学習院内各学校からの留学生や留学経験者受け入れによる児童との交流
- ◇創立140周年記念誌の作成と記念式典の開催

幼稚園

- ◇新教育要領に合った保育内容の充実
- ◇研究保育の内容充実と園内外の研修実施

Support. 2

単発型寄付

学生・生徒の
国際交流を応援したい

海外留学や交換留学など、国際感覚を養う環境の整備

学習院国際交流基金

社会に求められる
国際知見豊かな
人材育成のために。

留学制度の拡充と国際交流活性化へ

学習院には多彩な留学プログラムがありますが、なかでも 2016 (平成 28) 年にカナダのレスブリッジ大学と締結したダブルディグリー協定は、国際化の一層の推進につながっていくものと思います。このダブルディグリープログラムは、学習院女子大学に在籍しながらレスブリッジ大学に留学し、両大学が相互に単位認定することで両大学の学位を取得できるというものです。入学から卒業まで最短で5年間必要で、高い意識と語学力を求められますが、国際

学習院国際交流基金の事業計画

学習院各学校と海外の教育機関や学校との提携、教員・学生・生徒等の交流、留学生受け入れ態勢の整備、さらに外国人留学生・外国人教員のための交流を意欲的に実施。また、「学習院未来計画 2021」では大学の国際研究教育機構と国際交流センターを統合し、教育研究活動の充実と学生へのサービスの向上を図ります。

主な寄付金の用途

▶ 海外の教育・研究機関との交流活動

アルザス欧州日本学研究所連携プログラム、インドネシア国立大学研究教育交流事業、セントポール校との協定に基づく生徒交換・教員交換事業、イートン・サマースクール等。

▶ 外国人研究者等の受け入れ助成事業

東アジア学若手研究者招聘事業等。

▶ 外国人学生への助成

外国人学生に対する奨励金、協定留学生奨学金、AFS 交換留学生の受け入れ等。

▶ 学習院学生・生徒の留学助成事業

国際社会科学部短期海外研修支援事業、海外留学奨学金、大学院学生国外研究発表援助、海外ボランティア活動奨励金等。

留学生からのメッセージ



日々、英語力が上がっている
と実感しています。

大関 りさ子

学習院女子大学 国際交流文化学部
国際コミュニケーション学科3年

趣味は旅行。レスブリッジにたくさんある教会では様々な
イベントが催され、カナダの友人と参加するのが楽しみ。

ダブルディグリー・プログラムを利用し、2016（平成28）年
9月からレスブリッジ大学で人類学・考古学・音楽歴史学を勉強
中です。留学を決意したのは、語学力を上達させたかったこと
と、カナダの生活を通して自身の価値観を広げ、異文化に対
する理解を深めたかったから。高いモチベーションを持って留
学することでより大きなリターンが得られ、日々英語力が上が
っている実感があります。また、国際色豊かな友達フレンドリ
ーな人が多く、大学の授業では学ぶことができない生活に密着
した異文化を肌で感じることができ、とても充実した時間を過
ごしています。将来はこの2年間の留学経験を活かし、通訳案
内士や旅行業界の仕事に就くのが夢。目標に向かって人間的に
も成長できるよう毎日積極的に取り組んでいます。



大学のカフェテリアにて（右：本人）



レスブリッジ大学図書館

的な事柄に非常に関心のある学生にとってはメリッ
トのある制度でしょう。

海外事情に通じ、語学力の高い人材が社会に求めら
れている今、本学としては今以上に留学プログラムや
制度を増やし、学生の選択肢を広げる努力を続けてい
ます。新たにフランスの西部カトリック大学と協定を
結ぶこととなり、これで一通りヨーロッパ主要国に協
定校をもつこととなります。

国際的に活躍できる人材の育成には多くの予算を
必要とし、留学費用も例外ではありません。基本的
に海外の大学は日本と比べて学費が高いので、その

学費を補助するために国際交流基金をはじめとする
皆さまからの募金を使わせていただいております。
学生が積極的に海外留学に挑戦できるよう、さらに
留学生の受け入れや交流を活性化するためにも、引
き続き皆さまからのお力添えをお願いいたします。



時安 邦治

学習院女子大学
国際文化交流学部教授
国際文化交流学部長



寄付者の声

わずかですがお振込みさせてい
ただきました。国際交流基金・学
習院奨学基金へも少しばかりさせ
ていただきたいと存じます。

高等科

少額につき申し訳ありません。
多少なりともお役に立てれば幸い
です。

女子大学

娘が英語英米文化学科に在籍し
ており、学校を大変気に入ってい
るのでぜひ寄付させてください。

大学

学習院が誇る逸材を 全力でサポートする。

西坂研究室で「アーキア」と奇跡の出会い

僕は理学部物理学科の出身ですが、どちらかというと物理は苦手で、模範的な学生でもなかったと思います。そんな僕が研究の世界にはまったきっかけは、卒業研究で取り組んだ「マイコプラズマ」という病原細菌の運動の論文を書くということでした。この世界は楽しい、もっと知りたいという意欲がどんどん湧き上がってきて、気が付いたら西坂研究室に入り浸っていました。現在の研究対象である「アーキア」は、極限的な環境や低栄養の環境に適応する微生物ですが、今まで誰もその全容を明らかにすることができていませんでした。もちろん僕も知りませんでしたが、西坂研究室に入ったおかげで「アーキア」の存在も知ることができ、のびのび研究させてもらって先日は英科学誌「ネイチャー・マイクロバイオロジー」

に原著論文を発表することもできました。感謝しかありませんね。

環境作りに必要だった学習院の奨学金

大学までの学費は親がかりでしたが、修士課程に進むときに「全部自分でやる」と約束しました。考えた末、最初は日本学生支援機構から奨学金をもらいましたが、それだけだと学費や研究にまつわる様々な資金繰りが難しくなったので、博士後期課程から学習院の「学習院大学大学院博士後期課程給付奨学金」も受給しました。これは年間授業料の3分の1相当額を支援してくれるもので、僕にとっては大変ありがたかったですね。研究を続けている人は皆同じだと思いますが、朝から晩までデータを取るなど、どうしても不規則になりがちなので環境作りはとても大切なのです。ア

学習院奨学基金の事業計画

「学習院奨学基金」は、経済的事由で勉学の機会が失われないように支援する「経済支援型」と、学業成績優秀者を対象とした「学業優秀者褒賞型」の、大きく分けて2つの支援があります。近年、より給付型の充実に向けて検討を進めており、昨年度(2016年)から学生の経済的支援を入学前に確約する給付型の奨学金「目白の杜奨学金」を新設。これは地方の学生が地元を離れても、安心して学業に打ち込める環境を整えるものです。また、高等科、女子高等科出身で優秀な学生に対する入学前予約給付の奨学金「さくら奨学金」も新設し、新入生向けの制度の充実を実現しました。「学習院未来計画2021」では引き続き給付型奨学金の充実に向け、まずは2017(平成29)年度から新設される日本学生支援機構の給付型奨学金との運動も見据えながらより多くの学生に向けて手厚い支援を目指します。(学生センター学生課長 梶川 優子/学生センター学生課主事補 久保 れみ)

主な寄付金の用途

▶奨学金制度の施行 ・学習院大学新入学生特別給付奨学金 ・目白の杜奨学金 ・さくら奨学金 ・学費支援給付奨学金
・大学奨学金 ・大学院博士後期課程給付奨学金 ・学業優秀者給付奨学金



指導教授から

木下くんを一言でいうと“愛のある研究者”。研究の中で一番大事な「答えは自分の実験の中にしかない」ということがよくわかっていて、本当に熱心です。育志賞の受賞も、もちろん学習院初。日本の今後の自然科学を背負っていくであろう人物が西坂研究室にいる



西坂 崇之
学習院大学 理学部
教授

ということは、誇らしいことですね。「アーキア」の研究には、私自身の研究技術や自作の光学顕微鏡で関わっていますから、彼の成功は私の喜びでもあるんです。

アメリカでは大学生でも研究のために給料が支給されるところもありますが、日本ではそのような仕組みがありません。僕も奨学金のおかげで、比較的安定した心で研究が続けられたと思っています。

今年(2017年)8月から2年間、ドイツのフライブルク大学にある研究室に留学し、「アーキア」を遺伝子レベルでより深く研究します。僕にとって、研究は本当に“おもしろいモノ”なので、その想いを次の世代に伝えたいと、最近よく考えています。



木下 佳昭
学習院大学大学院
生命科学専攻 博士後期課程3年
第7回(平成28年度)日本学術振興会
による、優れた若手研究者を顕彰する
育志賞を受賞。秋篠宮殿下ご臨席のもと表彰された。



寄付者の声



恩恵を受けたひとりとして
今後はお返ししなければ。

大学に進学したら、自立しようと決めていました。だから、4年生になるまでほとんど遊んだことがありません。住み込みでの牛乳配達に始まり、夜間の血液検査のアルバイト、家庭教師などもやった記憶があります。進学したい、がんばりたい、そういう若者がいるなら、何かしら貢献したいというささやかな気持ちです。大したことはできませんが、私自身も奨学金があったからこそ、今の自分があります。それがなかったら人生が変わっていたでしょう。

岩田 英二さん
学習院大学大学院自然科学研究科化学専攻
(1981(昭和56)年修士課程修了)

Support.4

単発型寄付

課外活動の活性化を
バックアップ

課外活動団体への助成、成績優秀団体・個人への褒賞など

課外活動助成基金

学習院らしい 文武両道の精神を 見守るために。

柔道も数学教師への夢も、全力で挑む

柔道を始めたのは小学校1年生のとき。1歳で両目の視力を失い、健常者に比べて運動量が落ちるのを心配した両親の勧めでした。もちろん、「柔道」というものがどんなものかわからず始めたので、最初は技を覚えるのにひと苦労。でも道場の先生たちがとても親身で、組み手はこうだよとか、実際に技を組んでいるところを触らせてもらって手や足はこうなっているんだと形を覚えるなど、少しずつ感覚を養っていったんです。そのうち、言葉の説明だけでも理解できるようになりました。

僕には2つ夢があります。1つは柔道を続けること、もう1つは数学の教師になること。実は、教育実習で僕の高校に来てくださった全盲の先生が、学習院大学理学部数学科のOBだったんです。その方に「学習院はのびのびと自分のやりたいことができる大学だ」と話しをお聞きしたのが、学習院へ入学したきっかけ。文武両道の精神が根付いていて、僕にはとても過ごしやすい環境です。勉強もがんばって、柔道もがんばる。柔道の目標は、もちろん2020年の東京パラリンピックでメダルを獲ることです。そのために、今はしっかり身体のケアをしながら練習に励んでいます。



永井 崇匡

学習院大学 理学部 数学科2年
昨年の第31回全日本視覚障害者柔道
大会男子73kg級を全勝で2連覇。
今後が期待される若手柔道家。

課外活動助成基金の事業計画

学習院各学校は「生徒・学生にとって教科等の学習活動とともに課外活動は重要であり、キャンパス環境のなかでゆとりある教育と活発多彩な課外活動こそ学習院の教育を特徴づける2つの柱である」と、重要性を位置付けています。学習院各学校の課外活動団体、および成績優秀な団体・個人を率先して褒賞し、さらなる飛躍を期待するとともに、課外活動の活性化をバックアップし、世界に羽ばたく人材の育成を推進します。

主な寄付金の用途

▶ 課外活動団体（クラブ）への助成金の支給

日常の活動への支援のほか、予選を勝ち抜いての全国大会出場や海外交流・遠征などを助成。

▶ 成績優秀な団体・個人への支援

全国大会、関東大会、都大会などにおいて優勝またはそれに準じた成績をおさめた者（団体）への助成。

▶ 施設設備の整備・充実

備品・用具・設備等、日常活動を支援。



2016(平成28)年度 優秀団体・優秀者一覧

大学

◇観世会部/第8回学生能楽コンクール 最優秀賞
◇馬術部/平成28年度関東学生会長杯(関東大会) 小障害B飛越競技1位

女子大学

◇きもの文化部/第45回「日本の心と美の祭典 全日本きもの装いコンテスト」地区大会(関東大会) 振袖の部 装いの華女王

高等科

◇漕艇部/平成28年度関東高等学校ボート大会 兼第56回関東高等学校選手権競漕大会(関東大会) 4位
◇ホッケー部/平成28年度東京都高等学校選抜ホッケー大会(都大会) 優勝

中等科

◇陸上競技部/第47回ジュニアオリンピック陸上競技大会(全国大会) 5位

女子高等科

◇第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会(全国大会) 16~18歳の部 シンクロフリールーティンチーム3位

女子中等科

◇第39回全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会(全国大会) 13~15歳の部 シンクロフリールーティンチーム2位



寄付者の声



世界で活躍できる逸材を
学習院から輩出したい。

小堀 正晴さん

学習院大学法学部法学科卒業(1979(昭和54)年)
学習院父母会会長

課外活動は、授業では得られない多くの収穫を与えてくれます。人間関係を通じて得た様々な体験は、生涯にわたって続く財産となります。そうした意義ある課外活動に対して、学習院父母会では施設や設備・備品などの助成をはじめ、優秀な成績を残した団体・個人への褒賞など物心両面での惜しみない支援をおこなっています。学習院の名を知らしめる逸材を輩出すべく、学習院の課外活動全体にあまねくご支援をいただくことが重要かと存じます。

Support. 5

単発型寄付

母校の教育環境を
守りたい

学習院が設置する8校の中から希望する学校への援助

各学校等指定寄付

私たちが、そして家族が
愛する学習院へ
感謝の気持ちを込めて。

各学校の機器、教育ツールなどの購入をはじめ、教育環境の充実を図るために。
卒業生だけでなく各学校に通う学生・生徒等の保護者からのご支援も増えております。

学習院大学

教育支援・学生生活支援の充実



「学習院未来計画 2021」に掲げる、学習院の歴史と時代の要請を踏まえた教育改革や、教育の質をたゆみなく向上させるための環境整備の実現に向けて、大学ではこれらのうち特に、「教育支援の充実」や「学生生活支援の充実」に力を入れていきます。皆さまから頂戴いたしました貴重な寄付金を有効に活用させていただき、より高く評価される大学となるための教育改革を実行してまいります。

<http://www.univ.gakushuin.ac.jp/>

学習院女子大学

女子大学の魅力や価値向上を目指す



女子大学では、学生食堂のトレーとお箸をリニューアルいたしました。落ち着いた木目調のトレーに塗り調の上品なお箸で、使用開始日には食堂から学生の歓声が聞こえてまいりました。今後も賜ったご芳志は学内設備の充実や環境整備等、女子大学の魅力や価値を向上させるための取り組みに大切にに使わせていただきます。

<http://www.gwc.gakushuin.ac.jp/>

学習院高等科、学習院中等科

教育活動全般の活性化に向けて



中等科では、心身の発達の著しい時期に学業のみならず基本的な集団生活の習慣を体得するよう指導を心掛けています。高等科では、個人の関心や希望に対応するために必修科目と選択科目とを設定し、進学に向け準備をおこなっています。また、留学の制度により生徒たちを毎年海外に送り出しています。こうした教育活動のために学校の環境作り、あるいは課外活動の助成に、さらには国際交流に関わる支援へと、頂戴したお心遣いを役立てていきたいと考えております。

〈高等科〉 <http://www.gakushuin.ac.jp/bsh/>
〈中等科〉 <http://www.gakushuin.ac.jp/bjh/>

学習院女子中・高等科

女子大学共用のテニスコート整備着手

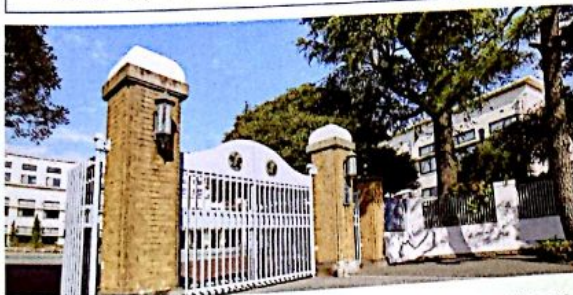


2016(平成28)年2月着工の総合体育館は本年2学期後半から使用開始となります。その後、第1体育館・戸山プールを解体し、女子大学と共用のテニスコートとして整備いたします。女子中・高等科では従来から実習・実験を重視し、本物に触れる教育を推進してまいりました。今後も、生徒自身が扱う機器・ICT設備の充実、環境整備を図ります。また災害備蓄品収納場所を整備するとともに厨房設備を整え、生徒ホールをカフェテリアとしても活用いたします。

<http://www.gakushuin.ac.jp/girl/>

学習院初等科

健康で、豊かな初等科生活を目指して



皆さまからいただいたご寄付は、児童の日常生活や日々の学習活動に使わせていただいております。たとえば、図書館の所蔵図書の実用を図るために、新規に本を購入しています。これによって、児童の読書意欲向上につながっています。また、西館の水道の温水化やウォータークーラーの増設にも役立てられました。

<http://www.gakushuin.ac.jp/prim/>

学習院幼稚園

自然豊かな園庭を守るために



幼稚園では指定のご寄付を「再開園50周年記念のタイル額」、大切なひな人形・五月人形や災害備蓄品等を収納する「大型の収納棚」等の作成費に使用させていただいております。今後は、自然豊かな園庭をさらに充実したものに、その中で園児が心と体を使って学び取れる環境を整えてまいりたいと考えております。

<http://www.gakushuin.ac.jp/kinder/>

かけがえのない 桜と安全な 学校生活を守る。

少しでも長く桜の景観が楽しめるように

学習院にとって桜は院章や校章にもなっているかけがえのない存在です。戸山キャンパスには、約140本の桜木がありますが、2014(平成26)年7月、樹木医に診断してもらったところ、約半数におよぶ桜木が予想以上に傷んでおり、早急な処置を迫られ桜再生計画の実施となりました。

桜再生計画は、戸山キャンパスではすでにスタートしており、女子大学と女子中・高等科の夏季休暇を利用して回復見込みのない桜木の伐採や伐根、土壌の入れ替えを実施。その後、新たな桜木の植樹を終えたところですが、新たに植える桜の樹種は各校の校章を意識して女子大学は五枚花弁のソメイヨシノ、エ

ドヒガンザクラ・オオシマザクラを、また、女子中・高等科付近はヤエザクラを点在させ、キャンパス全体で多品種の桜を楽しめるように整備していく予定です。一方、目白キャンパスには、約350本の桜木があり、皆さまが一番よく目にする正門・西門・記念会館付近を中心に植え替えや治療をおこないます。大木となるソメイヨシノだけでなく小木の品種なども取り入れ、少しでも長い期間桜の景観を楽しんでいただけるような整備が必要だと考えております。

現在、緑化関連事業の中心は桜再生計画ですが、他にも学生・生徒等が安全に学校生活を送れるよう、定期的に巡回して枯れ枝の除去や健全な緑地の維持など、各種整備をおこなっています。それらもすべて緑化事業寄付金の一部を使わせていただいております。景観維持だけでなく安全維持にも費用がかかる点をご理解いただき、今後もご支援のほどよろしくお願いいたします。

緑化関連事業の事業計画

豊かな感性を育む都心とは思えない広大な自然は、学習院が誇る財産のひとつ。四季折々の景観が美しい緑豊かなキャンパスをいつまでも残し、学習・研究に集中できる落ち着いた環境を保全するため、既存樹の育成や緑地の確保、建物施設周辺の空間形成などを整備します。特に「学習院未来計画 2021」では、目白キャンパス・戸山キャンパスの桜再生計画について、複数年に跨って衰弱した桜木の治療や植え替えを進める段階的な整備を実施します。

主な寄付金の用途

▶目白・戸山キャンパス桜再生計画

衰弱した桜木を中心に樹木診断に沿って治療・植え替えを実施することで景観の維持を図る。

▶幼稚園内の自然環境の充実

自然環境が変化している園庭の樹木、畑、土等の整備をおこない四季の移ろいが感じられる教育環境を整える。

▶四谷キャンパスの健全な緑地整備

既存樹木の剪定、地被植物や低木の新規植え込み等、景観維持・改善のための各種施策を実施。

▶目白・戸山・四谷キャンパスの安全維持管理

枯れ枝の落下等を未然に防ぎ、学生・生徒等が安全に活動できるよう毎月1回巡回点検を実施。

目白キャンパス・戸山キャンパス桜再生計画概要

〈目白キャンパス〉

・2017(平成29)年~2026(平成38)年 10カ年継続予定

◇再生計画のポイント

1. 衰弱の激しい桜木の植え替えをする。
2. 回復見込みのある桜木は長期的な視点で治療。
3. 植え替える桜木は多品種を揃え桜の開花時期の長期化を図る。

〈戸山キャンパス〉

- ・第1期工事 2016(平成28)年~
- ・第2期工事 2021(平成33)年~(予定)
- ・第3期工事 2026(平成38)年~(予定)

◇再生計画のポイント

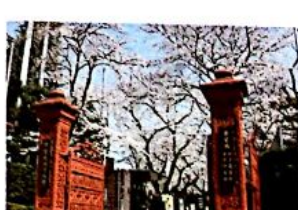
1. 土壌の改善を全面的に実施。
2. 桜木植栽の間隔をあけて木の接触を避ける。
3. 状態の良い桜木は残すようにする。
4. 正門からの景観に配慮し計画を実行。
5. 工事を分けけし全体の景観に配慮した年次計画の遂行。
6. キャンパス全体・隣地に影響を及ぼさない配慮。



清水 寿仁
施設部施設課長



政清 充則
施設部施設課 主事補



寄付者の声



元気をくれた目白の自然を
後輩たちにいつまでも残したい。

池坊 専好さん

学習院大学文学部国文学科卒業(1988(昭和63)年)
学習院女子大学客員教授

フランス文学科に入学後に国文学科へ転科、取らなければいけない専門単位が多く、また課外活動、お花の稽古など在学习中は忙しい毎日でした。そんな私に力強いエネルギーをくれたのが目白キャンパスの豊かな自然です。物言わぬ植物ですが、その命ある自然が人に与える影響や恩恵は計り知れません。私自身がいただいた感動や励まし、気づきをぜひそのまま次の世代に伝えられるように目白の自然を残したいという想いで、心ばかりですが、緑化関連事業を応援しております。

The Gakushuin Supporter's Club

学習院サポーターズ倶楽部

2006(平成18)年に発足した「学習院サポーターズ倶楽部」は、2017(平成29)年3月末日現在の会員数が1,012名。念願の1,000名に達しました。今後もサポーターの輪がますます広がり、勢いのある学習院を末永く支えてくださることを切にお願い申し上げます。



サポーターズ倶楽部会員加入状況

2017(平成29)年3月末日現在	
会員数	1,012名
延べ件数	1,160件
申込総額	193,302,000円



Member's Voice

「いつか銘板に名前が刻まれたら孫に見せてあげたらいいよ」
主人の言葉が入会のきっかけに。

星 千香子さん
学習院大学文学部
フランス文学科卒業
(1979(昭和54)年)



学習院サポーターズ倶楽部の案内が届いて読んだとき、主人に「毎年2万円の継続寄付で総額10万円になると、名前が銘板に刻まれるんですって」と話したところ、なぜか主人のほうがり身を乗り出して強くすすめてくれました。「銘板に名前が刻まれたら孫を連れて行って見せてあげればいい」。それもいいかも!と都合の良い動機で入会したのが、まるで昨日のようです。

いよいよ現実になった日を迎え、孫を連れて訪ねると、孫が私の名前を見つけてとても喜びました。そして一緒に校舎を見てまわるうち、学習院と関わりが持てたこと、少しでもお役に立てたか

もしれないという想いに、私も幸せな気持ちになりました。

学習院大学ギターアンサンブル所属としてサークル活動に明け暮れた4年間。やり直せるならもう一度勉強したいとの悔いはありますが、サークル活動を通じて得た生涯の友は何にも代えがたい存在です。横(同期)の関係はいつまでも仲良く、縦(上下)の関係は、先輩を慕い、後輩をかわいがり、それも学習院の良き伝統。良い人たちに囲まれ、あらためて学習院に入学して良かったと痛感し、その想いをこれからも学習院サポーターズ倶楽部にできるだけ長く託し続けたいと思っています。

学習院サポーターズ倶楽部（継続型寄付）

毎年継続して、一定額をご支援いただく制度です（申込総額10万円以上）。

年2万円以上最長5年間、継続いただけます。

募集要項

寄付金使途

教育改革推進資金（主に学習院の教育改革に必要な教育・研究に要する資金）

会員基準

学習院サポーターズ倶楽部は、以下の要件にご同意いただいた方が対象となります。

○寄付申込総額10万円以上

○年1回、一定額の寄付金を継続して（最長5年間）拠出することを確約していただいた個人・団体

お申込み・お手続き方法

個人

申込書「寄付金自動振替申込書（青色2連式）」に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒にてお申込みください。払込方法は預金口座からの自動振替をお願いいたします。毎年7月27日に自動的に振替させていただきます（振替日の前月6月15日までに募全部へ申込書類をご送付願います）。なお、振替手数料は無料です。

団体

学習院募全部（連絡先は31ページ）へご連絡ください。代表者さまに「寄付申込書」をお送りいたしますので、必要事項をご記入のうえ、ご返送ください。なお、払込方法は寄付金払込用紙による振込みとなります。

会員顕彰

学習院サポーターズ倶楽部としてのご寄付入金額が10万円に達した会員のご芳名を銘板に刻み、末永く顕彰させていただきます。（学習院創立百周年記念会館1階）

会員の皆さまには、
下記のサービスを提供させていただきます。

- 1** 会員レターの送付
学習院の最新トピックス等をお伝えします。
- 2** 「オール学習院の集い」へのご招待
サポーターズ倶楽部特設テントを設置し、
会員相互の親睦の場をご提供しています。
- 3** 2回目以降ご継続の方に、オリジナルグッズ進呈
申込期間満了後、再度お申込みいただいた方へ、
サポーターズ倶楽部オリジナルボールペンを進呈します。



【ご寄付に伴う個人情報の取扱いについて】

ご寄付により取得した個人情報につきましては、本院からの礼状送付、ご寄付者芳名録（ご芳名、寄付金額を掲載）の作成、ご寄付者の顕彰に関する業務のほか、本院からご寄付者にご連絡する必要がある場合にのみ利用します。

学習院サポーターズ倶楽部へのお問い合わせは31ページをご覧ください。

「想い」をカタチに

寄付者の声

学習院でほんとに良かった、
家族全員の想いです。



宮本 香さん・一美さん

長男が学習院大学に入学し、校風が合っているようでとても活き活きと通学しています。私もキャンパスを訪ねてみましたが、都心の一等地にあれだけの自然があることに驚き、また、教授陣のすばらしさ、教授と学生の距離の近さにとても感心しました。(香さん談)

息子たちの教育環境をより良くと思うのはすべての母親の想いですが、まとまった金額を1回でとなると考えてしまう、というのが正直なところ。サポーターズ倶楽部を知って「これならできる!」と、うれしくなりました。半年に1回、家族4人の外食を我慢したつもりで、感謝の気持ちを支援に代えております。(一美さん談)

我愛目白学習院



学習院大学法学部教授
中居 良文

私立大学のなかには、役職に応じた寄付を半ば義務化しているところもあるという。確かに大学からは実にタイミング良く、立派な寄付依頼の封書が届く。

しかし、ルネサンス期の哲学者が喝破したごとく、人は良いことをし続けるにはあまりにも忘れっぽい。物忘れでは人後に落ちない小生は、サポーターズ倶楽部に入ることにした。これで小生は家庭での財政部長からの非難のまなざし、大学からの無言の圧力から当分の間自由である。自由はタダではないが、すばらしい。

娘が幼稚園とのご縁をいただき、家族一同喜びでいっぱいでございます。今後のさらなる学習院の発展のために、少しばかりではございますがお役立ていただければ幸いです。 [幼稚園]

父の遺産の一部を母校へ。寡黙だった父もきっと、喜んでくれていると思う。



学習院高等科卒業
(1976(昭和51)年)
飯田 英信さん

父の勧めにしたがい、学習院中等科に入学。高等科まで学びました。中等科ではバスケットボールの部活に専念、高等科ではロック系のバンド活動でベースに熱中する、のびのびとした楽しくおおらかな6年間を過ごしました。

2011年に父が他界し、遺産を受け継ぎました。手続きはすべて税理士さんにお任せしたのですが、相続税分を寄付するという選択もあることをアドバイスいただき、それならと迷うことなく寄付することを決断。

人間形成にとって重要で多感な時期に勉強一辺倒ではない充実した日々を過ごし、良き恩師と友人に恵まれ、学習院に学んだことを感謝しています。卒業生ではない父が、なぜ、私に学習院を勧めたのか、今はわかる気がします。

学習院の施設拡充について賛同いたしております。よろしく申し上げます。 [女子中等科]

緑豊かで、すばらしい教育施設の中で学ぶことができ、本当に幸せに思っております。今後ますますの改革を祈念しております。 [中等科]

寄付者の皆さまが学習院へ寄せる想い。それはこれからの本学への期待や熱い想い、そして大切にしたい思い出などさまざまです。たくさんのメッセージから一部をご紹介します。

学習院の自然を、いつまでも残していただきたくて。



学習院大学文学部史学科卒業
(1979(昭和54)年)
菅原 彰子さん

私共夫婦は史学科の同級生です。史学科は先輩・後輩関係なく学生同士仲が良く、先生方を中心に親しくお付き合いいただき、そのご縁は今も続いています。

2000年1月、夫が急性膵炎で世界。入院して翌朝の急逝でした。生前から葬儀もお墓も戒名もいらないと言っておりましたので、遺志に従いましたが、それでも何か夫の供養と二人の記念になるようなことをしたいとずっと考えておりました。そんな折、ふと母校を思い出し、一周忌を機に、学習院の美しい自然をいつまでも残してほしいとの想いを、造園緑化のための寄付に託しました。北海道で生まれ育った夫は自然を愛していましたから、夫の強い思念が私にそうさせたのかもしれませんが。

春は桜、夏は百日紅、秋は紅葉がとてもきれいで…。図書館辺りのユリノキや目白通り沿いの街路樹、ネームプレートが付いた愛らしい花々、山茶花や椿の花などなど、どれも手入れが行き届き、血洗いの池も公園のようになり、キャンパス全体がいつもきちんとして整備されています。都心の広大な敷地の中にこれだけ豊かな緑が残っているのは大変貴重なことです。それは私たちだけでなく、在学生、卒業生ともに全員の共通した学習院への想いではないでしょうか。

通勤の途中、学習院の緑の杜を眺めることは、私にとってつかの間の安らぎのひとつです。

年末年始に帰郷した折、孫の知識も豊富になっており諸先生方に感謝申し上げます。今後定期的に寄付を考えております。

[女子大学]

息子が「夢」だった大学で学びをさせていただいております。成長した息子を母として誇らしく思っております。おはずかしい金額ですが、事業計画推進の一部となればうれしく思います。

[大学]

今の自分を作ってくれた学習院に感謝の気持ちを表したくて。



学習院大学経済学部経済学科卒業
(1983(昭和58)年)
安田 英祥さん

津山という人口10万人の地方都市から出てきた私を、学習院は快く受け入れ、大きな心と器で包み込み、成長を見守り、育ててくれたと感じています。

高等科では小学校から続けてきたサッカーに専念。大学では、弁論部が部員減少で厳しい状況にあると聞き、少しでもお役に立てればという想いで弁論部に入りました。勉強した記憶はほとんどなく(笑)、弁論部の幹事長として、また、経済学部ゼミナール協議会の委員長として、組織活動に熱中した大学生活を送りました。

同じ時間を共有した学習院の先輩・友達・後輩がいたからこそ、現在の私があると信じています。そして、今でもその関係が続いていることに感謝の気持ちを忘れることはありません。高校・大学を通じ、おおらかに育ち、品格を備えた、一流に数多く触れた友人たちに大きな影響を受けたこと。学習院での7年間は、今の私の大部分を形作ってくれたと同時に、私にとって生涯の宝となる人間関係の基礎も築いてくれました。

確か、当時の高等科には校則がなく、「正直であれ」という一言だけがあったような気がします。それには生きていくうえで人として大切な意味が含まれ、年齢を重ねる度に、この言葉がもつ重さと深さを実感しています。この言葉は、いつでも、いつまでも自分を律する芯であり、ぶれない軸となっています。

Gakushuin Ouyukai

桜友会

学習院で学んだ全員の同窓会組織である桜友会。
学習院の良き伝統の継承を目指して、献身的な活動を続けています。



桜友会を代表するメンバー（左から）黒川 光隆副会長、鈴木 征副会長、東園 基政会長、中田 明副会長、三野 祥彦副会長、秋山 豪副会長。

桜友会長インタビュー



卒業30周年を迎えられた方々による「卒業30周年同窓会」。近況報告や若き日の思い出話を通して旧交を温める機会に。



「オール学習院の集い」では豪華賞品の当たるチャリティーラッフルをおこない、益金は公益法人に寄付。

桜友会の活動は、
学習院全体の喜びに
つながらなければ意味がない。

桜友会の活動目的には「会員相互の親睦」「物心両面での母校支援」「社会貢献」という3つの柱があります。現在、会員総数は13万人を超え、様々な活動をおこなっていますが、桜友会の活性化がひいては寄付につながっていくのは言うまでもありません。地方にお住まいの方や現役学生といった幅広い層に、もっと桜友会の活動を知ってもらうべく現在取り組んでいます。最近では地方支部同士で連携を取り、情報発信の方法を共有するといった動きもありました。また、運動部のOBが積極的に現役学生の指導に携わり、有志から寄付を集めて外部指導者を招聘し活動の充実を図る姿も見

受けられます。もちろん毎月の月例会や旅行会など、会員の懇親を深める行事もたくさんありますが、参加している会員の喜びだけではなく、桜友会の活動は学習院全体にとって意味があるものでなければならず、そのひとつとして地方からの新入学生に対し桜友会奨学金制度を設けました。

桜友会は2016（平成28）年に設立95周年を迎え、「桜友会設立95周年記念」の行事をおこないました。同時に、5年後の設立100周年に向けてキックオフしました。この節目にはぜひ、学習院の記念事業の一環に役立てて頂ける形を残したい。そして、桜友会がさらに100年先まで愛され続けることを考えるのが大切だと思っています。

長い歴史のなかで育まれた 結束力を活かして。



月一回の親睦「月例会」

毎月開催している月例会は月例行事委員会が主催し、30年以上長きにわたって続く伝統的な行事。音楽家や企業役員、政治家など様々な分野で活躍されている卒業生を講師としてお招きし、興味深い講演会と食事をしながらの会員同士の親睦がおこなわれます。

事前予約をしなければ参加できない他の桜友会の会合と違い、当日気軽に立ち寄っても参加できるのが月例会の醍醐味です。そのため、まずは月例会に参加することが桜友会の活動に携わる入口と位置づけ、初めて参加した会員には旧交を温めつつ活動内容を共有。講師はボランティアでお願いするなど人的貢献にも配慮し、アットホームな雰囲気のもと、緩やかに卒業生と桜友会のつながりを築いています。

「新入生サポートセミナー」

新入生サポートセミナーは講座委員会が企画・運営しています。少子化・核家族化の増加から家庭で大学教育の話題が出るのが少なくなった時代背景を踏まえて始めたもので、若手卒業生をパネリストとして迎え、新入生にアドバイスを送ります。卒業して社会人になったときに何が問われるのか、そのためにはどんな学校生活を送るべきかなど、パネリストの体験談を通して様々なアプローチから発信されるアドバイスは、参加者から「重要なヒントを得ることができた」と毎年大好評。

桜友会は大学3年生から学生会員として加入することができますが、入学とともに学習院のすばらしさと桜友会の存在をアピールすべく、在学生への支援活動に積極的に取り組んでいます。



「月例会」にて、語らいのひととき、毎月参加人数100人を目標に、講師のアレンジなど桜友会が精力的にはたらきかけます。



桜友会として学生に何の貢献も提供していくことをテーマに掲げる講座委員会のメンバー。

寄付金に対する税制上の優遇措置について

個人

確定申告することで「寄付金控除」を受けることができます。



所得税の寄付金控除にはA税額控除制度とB所得控除制度の2種類があり、確定申告の際に、お選びいただくことができます

A 税額控除制度

寄付金額が年間 2,000 円を超える場合には、その超えた金額の 40% に相当する額が、当該年の所得税額から控除されます。

$$\text{(寄付金合計額}^{*1} - 2,000\text{円)} \times 40\% = \text{税額控除額}^{*2}$$

*1 控除対象となる寄付金額は、その年の総所得金額等の 40% が上限となります。

*2 所得税控除額は、その年の所得税額の 25% が上限となります。

例えば、30,000 円のご寄付について、税額控除制度を利用して確定申告をした場合、
 $(30,000\text{円} - 2,000\text{円}) \times 40\% = 11,200\text{円}$
 …所得税控除額として所得税額から差し引かれ、還付されます。

*還付額は個人の所得金額、各控除額により異なります。

*他のケースについては、「ご支援のお願い」
<http://www.gakushuin.ac.jp/ad/bokin/tax.html> をご覧ください。

制度をお選びいただくポイント
 所得税率に関係なく所得税額から直接控除されるため、多くの方において、B 所得控除制度と比較して減税効果が大きくなります。

B 所得控除制度

寄付金額が年間 2,000 円を超える場合には、その超えた金額が、当該年の所得金額から控除されます。

$$\text{寄付金合計額}^{*3} - 2,000\text{円} = \text{所得控除額}$$

*3 控除対象となる寄付金額は、その年の総所得金額等の 40% が上限となります。

制度をお選びいただくポイント
 所得控除をおこなった後に所得税率をかけるため、所得金額に対して寄付金額が大きい場合には減税効果が大きくなります。

確定申告に必要な書類

- 金融機関から受領した振込金受領証 (現金や自動振替でご入金された場合は本院発行の領収証)
- 特定公益増進法人であることの証明書 (写)
- 税額控除に係る証明書 (写)

*確定申告まで大切に保管をお願いします。

*証明書に記載されている事項は、証明書交付時点のもので、証明書の有効期限内 (5 年間) においては、特定公益増進法人として有効に取り扱われます。

さらに! 対象自治体では住民税の控除を受けることができます

学習院へご寄付された翌年 1 月 1 日のご住所が対象の自治体に該当される方は、確定申告の際に、住民税の寄付金控除もあわせて申告することにより、翌年度の住民税から控除されます (平成 29 年にご寄付された場合、平成 30 年度の住民税から控除)。確定申告をせずに住民税の寄付金控除のみを受ける場合は、自治体に申告してください。

$$\text{(寄付金額}^{*4} - 2,000\text{円)} \times \text{住民税控除率}^{*5} = \text{住民税控除額}$$

*4 控除対象となる寄付金額は、ご寄付された年の総所得金額の 30% が上限となります。

*5 住民税控除率は、都道府県の指定は 4%、市区町村の指定は 6%、双方の指定は合計の 10% となります。

学習院への寄付金は、文部科学省より寄付金控除の対象となる証明を受けています。
税金を寄付というカタチにして、学習院に皆さまのご支援をお願いいたします。

■所得税の寄付金控除額の目安表

		課税される所得金額							
		5,000,000		8,000,000		10,000,000		15,000,000	
寄付金額		還付額							
		税額控除	所得控除	税額控除	所得控除	税額控除	所得控除	税額控除	所得控除
10,000		3,200	1,600	3,200	1,840	3,200	2,640	3,200	2,640
30,000		11,200	5,600	11,200	6,440	11,200	9,240	11,200	9,240
50,000		19,200	9,600	19,200	11,040	19,200	15,840	19,200	15,840
100,000		39,200	19,600	39,200	22,540	39,200	32,340	39,200	32,340
200,000		79,200	39,600	79,200	45,540	79,200	65,340	79,200	65,340
300,000		119,200	59,600	119,200	68,540	119,200	98,340	119,200	98,340
500,000		143,125	99,600	199,200	114,540	199,200	164,340	199,200	164,340
600,000		143,125	119,600	239,200	137,540	239,200	197,340	239,200	197,340
900,000		143,125	179,600	301,000	206,540	359,200	296,340	359,200	296,340
1,000,000		143,125	199,600	301,000	229,540	399,200	329,340	399,200	329,340
2,000,000		143,125	399,600	301,000	459,540	441,000	659,340	799,200	659,340

※課税所得金額とは、給与所得金額（給与収入金額－給与所得控除額）から基礎控除、社会保険料控除、配偶者控除、扶養控除、生命保険料控除、損害保険料控除などの合計額を控除した金額をいいます。

※所得税の税率は、平成23年6月30日現在の法令によります。

※還付額は、個人の所得金額、各控除額により異なりますので、目安表はあくまでも参考資料としてご覧ください。

法人

当該事業年度の損金に算入することができます。

特定公益法人に対する寄付金

寄付金を一定の限度額まで損金に算入できます。

- ① 一般寄付金の損金算入限度額と別枠で、損金として算入できます。
- ② 本寄付による損金算入は、振込金受領証（現金入金の場合は、本院発行の「領収証」）と「特定公益増進法人であることの証明書（写）」によって手続きができます。
- ③ 上記の証明書は、募金部で入金の確認ができ次第、お送りいたします。

受配者指定寄付金

日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄付金の全額を損金に算入することができます。

- ① 本院所定の「寄付申込書（法人用）」の他、日本私立学校振興・共済事業団宛の「寄付申込書」が必要となります。
- ② 損金算入には、同事業団が発行する「寄付金受領書」が必要となります。

相続に伴うご寄付・遺贈寄付

学習院は相続財産のご寄付(遺産)、遺言によるご寄付(遺贈)の、2種類の遺産寄付を受け入れさせていただいております。皆さまの想いを込めた「未来計画」へのご協力をお願いいたします。

相続に伴うご寄付

「故人」の遺産を 寄付したいとお考えの方へ

相続により取得した財産の一部または全部を寄付した場合、寄付した財産に相続税が課税されません。

相続した財産の一部、例えば、相続税分に相当する金額を学習院にご寄付いただくなどのケースが増えております。故人にゆかりのある場所として、あるいは相続人の母校ということで、ご相談やお問い合わせを数多く頂戴しております。

相続に伴うご寄付の流れ

相続人の確定

ご逝去から3ヵ月以内

準確定申告

4ヵ月以内

遺産分割

寄付

相続税の申告・納付

10ヵ月以内

- 相続税の申告と納付は、ご逝去から10ヵ月以内と定められています(相続税法第27条)。
- 相続に伴うご寄付を希望される場合は、煩雑な相続手続きを税理士の方に代行いただけます。お早めに税理士にご相談されることをおすすめいたします。
- 学習院に寄付し申告することにより、そのご寄付は相続税の課税額から控除され、非課税となります(非課税の扱いを受けるには別途、文部科学省が発行する証明書が必要となり、学習院を通じて発行されるまで通常3~4週間かかります)。

父から受け継いだ遺産の一部を学習院の緑化に託して。

——— 大学文学部卒業 S.A. さん

2015年6月に父が亡くなり、兄妹が相続人となりました。以前、知人から、相続財産の一部を故人の意思でその方の母校である大学に寄付した、という話を聞きました。相続税を試算すると想定以上だったため、自分の想いを反映できる使い道とを考え、学習院の緑化関連事業に寄付をさせていただきました。あの豊かな自然を守りたい、美しい桜をいつまでも残したい、そんな気持ちを母校にお伝えできてうれしく感じています。



遺贈寄付

「ご自身」の遺産を 寄付したいとお考えの方へ

遺贈していただいた財産には、相続税が課税されません。

遺言書を作成し、遺産を特定の人や団体に贈ったり、寄付したりすることを「遺贈」といいます。「遺贈」は、慣習にとらわれず、ご本人の想いを将来確実に実現できる方法として、近年利用者が増加の傾向にあります。

遺贈により学習院の維持・発展に貢献したいとされる方々の便宜をお図りするため、学習院では信託銀行と遺言信託業務の紹介に関する協定を締結しております。

相続に伴うご寄付および遺贈寄付の詳細につきましては、学習院募金部までお尋ねください。

学習院募金部
TEL03-5992-9217 (直通)
E-mail: bokino@gakushuin.ac.jp

お元気なうちに公正証書を作成し、他界後に学習院へ。

——— 大学文学部卒業 Y.H. さん

卒業後は出版社に定年まで勤務したY.H.さんは、独り身で過ごされていましたが、両親と兄弟を亡くされて、初めて自分の死を不安に思われたとのこと。思い切って公証人役場に行き「公正証書」を作成、まだお元気な76歳の時でした。その後、体調を崩したY.H.さんは友人に看取られ83歳で他界。財産の清算は公正証書に基づいておこなわれ、ご自身の葬儀代などを差し引いて残った現金を学習院に遺贈されました。

遺贈によるご寄付(遺言信託寄付)の流れ

財産の遺贈を希望される場合は、煩雑な相続手続きを信託銀行が代行いたします。

学習院募金部へ問い合わせ

本学と契約している信託銀行へ直接ご相談いただくことも可能です。
提携信託銀行：三井住友信託銀行、三菱信託銀行 他

【信託銀行】ご相談

専門のコンサルタントがご相談を承ります。

【信託銀行】書類を作成

遺言寄付に必要な書類を作成し、保管を行います。
保管期間中は定期的にご照会いただきます。

【信託銀行】遺言の執行

ご逝去の連絡を受け、信託銀行が遺言を執行します。
「遺言執行報告書」をご遺族へお渡しして、遺言が完了します。

執行内容

・財産の収集・財産目録作成・遺産の管理処分
・財産分配・遺贈寄付

寄付

寄付者への顕彰

ご寄付いただきました方々に対しましては、そのご厚意への感謝の意を表し、ご芳志に応じましてさまざまな顕彰をご用意しております。

顕彰の流れ

ご寄付



「ご寄付者芳名録」
に掲載

「ご寄付者芳名録」に掲載

寄付者ご芳名、寄付金額を「ご寄付者芳名録」に掲載させていただきます。なお、匿名希望の方または金額の掲載を希望されない方、掲載そのものを希望されない方は、ご対応いたしますのでお申出ください。

ご寄付金額の累計が
100万円以上となりました場合

学習院長との
懇談会にご出席

学習院長との懇談会において、御礼申し上げます。

100万円以上の高額ご寄付者（個人・法人とも）には、院長以下役員・各学校長等が出席する懇談会にご出席いただき、その席上、院長より感謝状を贈呈のうえ、直接お礼を述べさせていただきます。

賛助員に委嘱

賛助員として、皆さまからご意見を賜ります。

学校法人学習院校規に基づき、個人で100万円（法人で1,000万円）以上のご寄付者に賛助員をお願いし、ご承諾いただいた方々で「賛助員会」を組織しております。年1回開催される会合では、学校側より学習院の現況を報告させていただき、その際に賛助員の皆さまから本院の事業運営に関するご意見を賜る機会を設けています。会合に引き続いておこなわれる懇親会では、院長以下役員・各学校長等が出席し、賛助員の皆さまとの親睦を図っています。また、学習院創立百周年記念会館2階の賛助員銘板にご芳名を刻み、末永く顕彰させていただきます。

個人で500万円（法人で2,000万円）
以上のご寄付の場合

学習院功労章贈呈

学習院功労章・学習院特別功労章を贈呈いたします。

特別な高額ご寄付者に対しましては、学習院功労章、学習院特別功労章を贈呈し、表彰させていただくほか、学習院創立百周年記念会館3階に特設展示しております銘板にご芳名を刻み、末永く顕彰させていただきます。

個人で3,000万円（法人で1億円）
以上のご寄付の場合

学習院特別功労章
贈呈



募金の概要

人材育成、経済発展、技術革新等、広く社会貢献につながる教育・研究の充実発展のためのご支援の種類です。お申込み・お支払い方法もお選びいただくことができます。

「学習院未来計画 2021」推進募金 募集要項

名 称	「学習院未来計画 2021」推進募金
期 間	2017(平成 29)年から 2021(平成 33)年度
募金目的	国際社会で活躍できる人材を育成すべく、教育・研究のさらなる高度化とそれらを推進するため、本院が取り組むさまざまな事業の資金に充当
目 標 額	35 億円
募金方法	I 単発型寄付：6つの項目から任意に選択していただく方式 II 継続型寄付：学習院サポーターズ倶楽部
募集金額	I 単発型寄付：1口の金額は特に定めておりません。 II 継続型寄付：寄付申込総額 10万円以上

*入学・卒業時の募金につきましては別途ご依頼申し上げます。

I 単発型寄付（6種類選択方式）

6つの項目から、想いを託したい寄付先をお選びいただける制度です。

目安額は定めておりません。ご寄付額はご自由に設定ください。

6つの寄付項目



教育改革推進資金

教育研究のさらなる高度化と充実を推進



課外活動助成基金

課外活動団体（クラブ）への助成、
成績優秀団体・個人への褒賞など



学習院国際交流基金

海外留学や語学研修など、国際感覚を養う環境の整備



各学校等指定寄付

学習院が設置する8校の中から希望する学校への援助



学習院奨学基金

成績優秀者や在校生に対する
経済的支援拡充のために活用



緑化関連事業

目白・戸山・四谷の3キャンパスにおける
緑化整備に寄与

◎II 継続型寄付の募集要項に関しては 21 ページをご覧ください。

単発型寄付お申込み・お手続き方法

お振込の場合

寄付金払込用紙に
必要事項をご記入ください。

銀行・ゆうちょ銀行および郵便局の窓口でお振込みください（払込用紙の裏面に記載の
取りまとめ銀行の本支店または郵便局の窓口をご利用になりますと手数料は無料です）。

※現金自動預払機（ATM）でのお振込は本人確認が困難なため、ご遠慮願います。
※お取扱金額が10万円を超える場合は、本人確認書類を提示する必要があります。
※払込用紙裏面にある収入印紙欄には印紙貼付の必要はありません。
※払込控（受領証）は寄付金領収証となりますので、大切に保管願います。

インターネットをご利用の場合

学習院ホームページにアクセスしていただき、お申込みください。
インターネットによる募金は、クレジットカード決済またはインター
ネットバンキング決済（ペイジー）となります。

学校法人学習院ホームページ内「ご支援のお願い」
<http://www.gakushuin.ac.jp/ad/bokin/>

※お支払い回数は1回のみとさせていただきます。
※クレジットカード決済でお申込みいただいた寄付金は、約2～3ヵ月後に学習院へ入金されます。
※領収証の発行日は、お申込日ではなく寄付金が学習院へ入金された日付となりますので、あらかじめご了承ください。

インターネットバンキング決済（ペイジー）のご説明

金融機関の「インターネットバンキング」に口座をお持ちの方はご利用いただけます。

ご利用可能な金融機関

取り扱い可能な金融機関はこちらでご確認ください。<http://www.gakushuin.ac.jp/ad/bokin/order.html>

お振込受付時間

各金融機関が設定した利用時間に準じます。

※各金融機関のシステムメンテナンス等の都合により、ご利用できない時間帯がございます。詳しくは各金融機関のホームページにてご確認ください。

ご利用手順

- 1 学習院ホームページにアクセスしていただき、お申込みください。
インターネットによる募金は、クレジットカード決済またはインター
ネットバンキング決済（ペイジー）となります。
- 2 寄付情報入力画面でご利用の金融機関を選択して次へ進みます。
「その他金融機関」を選択した場合、金融機関検索画面が表示さ
れますので、業態または、名前のボタンを押して次に進みます。
金融機関選択画面が表示されますので、一覧から金融機関を選択
して「入力内容確認へ」ボタンを押して次に進みます。
- 3 入力内容をご確認いただき、「お申込み」ボタンを押してく
ださい。完了画面が表示されますので、「金融機関サイトへ」
ボタンを押してください。
- 4 金融機関のインターネットバンキングサイトが表示されます
ので、ログインしていただき、お振込みの手続きをしてくだ
さい。

※寄付申込完了から14日以内に振込手続きをお願いいたします。申込から15日を過ぎますと、各金融機関に送付した情報が無効になります。
※寄付情報確認画面で「お申込み」ボタンを押していただいた時点で、寄付申込完了画面が表示、申込確認メールが送信されます。
その後、金融機関のインターネットバンキングサイトにて、振込手続きをお進めいただくこととなります。
※お振込み後のご変更・ご返金等は、原則としてできません。
※海外在住の方でも、インターネットバンキング決済（ペイジー）のご利用はできます。ただし、情報統制がされている一部の国においてはご利用で
きない場合があります。

ご寄付に関するお問い合わせ先

学習院募金部直通 TEL.03-5992-9217 Email : bokinoff@gakushuin.ac.jp